

東京蒲田医療センターでの研究に関する説明と参加へのお願い

【研究課題】

入院時退院支援スクリーニングシートで訪問看護対象者抽出の有効性についての検討

【研究期間名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関：JCHO 東京蒲田医療センター

研究責任者：佐藤 裕子

【研究期間】

令和7年8月1日～令和8年4月30日

【対象となる方】

過去2年間（令和5年8月1日～令和7年7月31日）で、入院をきっかけに訪問看護を導入した患者と、同期間に入院したその他の患者

【研究の意義】

- ・入院時退院支援スクリーニングシートにより、入院早期から訪問看護が必要な患者を抽出できる可能性がある
- ・入院時退院支援スクリーニングシートが、訪問看護導入に有用かどうか明らかにできる可能性がある
- ・入院時退院支援スクリーニングシートの有用性を明らかにすることで、訪問患者利用者を増加するための方策を見出せる可能性がある

【研究の方法】

コホート研究（後ろ向き）

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される資料や情報・データ等は、外部に漏洩することのないよう、慎重に取り扱う必要があります。収集した資料や情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを匿名化といいます）。匿名化した上で、研究責任者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコン、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。但し、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることも出来ます。この研究のためにご自分（あるいはご家族）の

データを 사용하여ほしくない場合は下記の間い合わせ先にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。また、匿名化を行い、解析するため、解析後の参加の取り消しはできません。研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内及び海外のデータベース等で公表します。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保存期間終了後には、データ消去によりデータを破壊します。なお、研究データを統計データとしてまとめられたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。なお、あなたへの謝金はございません。この研究について、わからないこと、聞きたいこと、何か心配なことがありますたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

研究責任者：佐藤 祐子

〒144-0035 東京都大田区南蒲田2丁目19番2号
電話：03-3738-8221

JCHO 東京蒲田医療センター 訪問看護室